



## 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 日本化学産業株式会社

コード番号 4094 URL <http://www.nihonkagakusangyo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柳澤英二

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 百瀬 謙

TEL 03-3873-9223

四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日

配当支払開始予定日

平成25年12月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	9,462	5.5	989	21.8	1,048	17.7	729	2.6
25年3月期第2四半期	8,967	△18.2	812	△36.9	890	△34.5	710	△6.4

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 1,083百万円 (86.4%) 25年3月期第2四半期 581百万円 (△5.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	36.70	—
25年3月期第2四半期	35.89	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	31,556	26,296	83.3	1,322.28
25年3月期	30,436	25,353	83.3	1,276.62

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 26,296百万円 25年3月期 25,353百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00
26年3月期	—	8.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,560	10.7	2,330	43.8	2,420	36.0	1,660	11.1	83.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	20,680,000 株	25年3月期	20,680,000 株
26年3月期2Q	792,579 株	25年3月期	820,225 株
26年3月期2Q	19,872,482 株	25年3月期2Q	19,798,429 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計処理の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日～平成25年9月30日）におけるわが国経済は、昨年末の政権交代後の株価回復、円安傾向継続による輸出の持ち直し、緊急経済対策の効果等により、一部では景気回復の兆しが見られましたが、一方で、米国の債務上限問題の再燃、欧州経済の停滞や中国をはじめとする新興国経済の減速等の景気下振れリスクや、円安に伴う輸入物価上昇もあり、依然として本格的な実体経済の回復までには至っていない状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、新製品や新規用途開発品を中心とした販売・生産数量の確保・拡大、新規ユーザー開拓への尽力、タイ海外子会社における新製品の安定生産・販路拡大を目指すとともに、価格競争力を増すための全社挙げての低コスト体質強化に努めてまいりました。その結果、当第2四半期連結累計期間の当社グループ全体の売上高は、前年同四半期比495百万円5.5%増の9,462百万円となり、利益面では、建材事業が順調に推移したこともあり、営業利益は前年同四半期比176百万円21.8%増の989百万円、経常利益は前年同四半期比157百万円17.7%増の1,048百万円となりました。しかしながら四半期純利益においては、前年同四半期に東京電力福島原子力発電所事故に伴う損害補償金284百万円を特別利益に計上しましたが、当第2四半期間内では福島工場生産品売上の回復により、損害補償金が152百万円と減少したため、前年同四半期比18百万円2.6%増の729百万円にとどまりました。

セグメントの業績は、次のとおりとなります。

## [薬品事業]

主力の薬品事業は、国内においては、納入先の複数購買化や生産拠点の海外シフトの影響等により数量面では伸び悩み、海外においてはタイの海外子会社における新製品が動き出したものの本格化までは至りませんでした。前年同期間に比しての非鉄金属相場上昇や円安による売価アップ、電池用薬品の売上増等もあり、売上高は前年同四半期比220百万円2.9%増の7,768百万円となりました。利益面では、海外子会社がパソコン関連需要の落ち込みや複数購買化・仕様変更等の影響により営業損失となりましたが、国内においては、従前から取り組んできた安価原料・リサイクル原料の活用・拡大による収益面の改善、電池用薬品の採算改善等があり、営業利益は前年同四半期比33百万円5.4%増の664百万円となりました。

## [建材事業]

住宅ローン減税等の政府の住宅購入支援策の継続や消費税増税前の駆け込み需要等により住宅着工戸数が伸びたため、住宅建材を中心に堅調に推移し、売上高は、前年同四半期比274百万円19.4%増の1,694百万円となり、利益面でも、増収効果と徹底したコスト削減努力により営業利益が前年同四半期比128百万円31.2%増の539百万円と順調に推移しました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、棚卸資産は減少したものの現金および預金が増加したことにより、前連結会計年度末比367百万円増の20,101百万円となりました。また、固定資産は、有形固定資産が前連結会計年度末比21百万円減の5,929百万円となりましたが、投資その他の資産において株価回復による投資有価証券が増加し前連結会計年度末比772百万円増の5,502百万円となったことにより、全体では前連結会計年度末比752百万円増の11,455百万円となりました。この結果、総資産は前連結会計年度末に比べ、1,120百万円増の31,556百万円となりました。一方、負債は、流動負債が短期借入金の増加により、前連結会計年度末比82百万円増の4,368百万円となり、固定負債は前連結会計年度末比94百万円増の891百万円となりました。また、純資産は利益剰余金の増加により前連結会計年度末比943百万円増の26,296百万円となり、総資産もほぼ同じ増加率であったため、結果として、

自己資本比率は前年度末と同様の 83.3%となりました。

(キャッシュ・フローについて)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、営業活動によるキャッシュ・フローで1,156百万円増加、投資活動によるキャッシュ・フローで755百万円減少、財務活動によるキャッシュ・フローで57百万円減少し、この結果、当第2四半期連結累計期間末は、前連結会計年度末に比べ386百万円増加し、9,314百万円となりました。また、前年同四半期比では476百万円の増加となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金は、1,156百万円の増加(前年同四半期は1,366百万円の資金の増加)となりました。この主な要因は、法人税等の支払額409百万円、売上債権の増加額86百万円があったものの、税金等調整前四半期純利益が1,207百万円、棚卸資産の減少額116百万円、減価償却費378百万円等に加え、その他として補償金の受取額152百万円により資金が増加したことであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金は、755百万円の減少(前年同四半期は757百万円の資金の減少)となりました。この主な要因は、定期預金の預入による純支出が500百万円、有形固定資産の取得による支出が218百万円あったこと等であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金は、57百万円の減少(前年同四半期は9百万円の資金の増加)となりました。この主な要因は、短期借入金の純増額が98百万円あったものの、配当金の支払額が158百万円あったこと等であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の連結業績予想につきましては、現在までのところ概ね当初予想の範囲内で推移しているため、平成25年5月10日公表の予想から変更いたしておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計処理の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,527,642	9,914,088
受取手形及び売掛金	5,746,034	5,844,830
商品及び製品	1,131,934	980,516
仕掛品	1,036,833	1,148,705
原材料及び貯蔵品	2,000,895	1,937,752
繰延税金資産	186,237	186,459
その他	105,388	90,439
貸倒引当金	△1,710	△1,700
流動資産合計	19,733,256	20,101,092
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	2,123,999	2,074,505
その他(純額)	3,827,632	3,855,228
有形固定資産合計	5,951,631	5,929,733
無形固定資産		
	21,925	23,961
投資その他の資産		
投資有価証券	2,289,699	2,500,484
繰延税金資産	27,574	41,944
その他	2,414,054	2,961,194
貸倒引当金	△1,570	△1,570
投資その他の資産合計	4,729,758	5,502,053
固定資産合計	10,703,315	11,455,747
資産合計	30,436,572	31,556,839
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,232,481	2,226,885
短期借入金	630,112	737,712
未払法人税等	437,771	497,918
賞与引当金	315,000	330,000
役員賞与引当金	25,000	12,500
災害損失引当金	11,049	—
資産除去引当金	25,000	25,000
その他	609,397	538,634
流動負債合計	4,285,812	4,368,650
固定負債		
繰延税金負債	288,090	371,922
退職給付引当金	304,964	289,369
環境対策引当金	9,532	9,532
資産除去債務	110,368	111,614
その他	84,374	108,912
固定負債合計	797,330	891,351
負債合計	5,083,142	5,260,001

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,034,000	1,034,000
資本剰余金	571,695	579,913
利益剰余金	23,840,246	24,410,606
自己株式	△327,627	△316,690
株主資本合計	25,118,315	25,707,829
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	330,716	467,492
為替換算調整勘定	△95,601	121,515
その他の包括利益累計額合計	235,114	589,008
純資産合計	25,353,430	26,296,837
負債純資産合計	30,436,572	31,556,839

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
四半期連結損益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	8,967,057	9,462,104
売上原価	7,043,894	7,322,883
売上総利益	1,923,162	2,139,220
販売費及び一般管理費	1,111,115	1,150,176
営業利益	812,047	989,043
営業外収益		
受取利息	6,071	9,644
受取配当金	20,668	23,933
不動産賃貸料	15,440	15,137
補助金収入	34,966	12,721
その他	21,510	18,116
営業外収益合計	98,656	79,554
営業外費用		
支払利息	7,021	6,969
売上割引	6,482	6,079
賃貸収入原価	5,211	5,002
その他	1,150	1,811
営業外費用合計	19,866	19,863
経常利益	890,837	1,048,734
特別利益		
受取補償金	284,426	152,846
投資有価証券売却益	—	46
固定資産売却益	853	317
災害損失引当金戻入額	—	6,470
特別利益合計	285,280	159,680
特別損失		
固定資産除却損	5,413	1,110
投資有価証券評価損	17,900	—
災害による損失	10,183	—
特別損失合計	33,496	1,110
税金等調整前四半期純利益	1,142,621	1,207,305
法人税等	431,988	478,067
少数株主損益調整前四半期純利益	710,633	729,238
四半期純利益	710,633	729,238



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	710,633	729,238
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△140,869	136,776
為替換算調整勘定	11,447	217,117
その他の包括利益合計	△129,421	353,893
四半期包括利益	581,212	1,083,131
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	581,212	1,083,131
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,142,621	1,207,305
減価償却費	378,116	378,235
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△101	△10
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△5,000	15,000
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△10,000	△12,500
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△8,252	△16,119
災害損失引当金の増減額 (△は減少)	△10,515	△11,049
固定資産除却損	5,413	1,110
固定資産売却損益 (△は益)	△853	△317
投資有価証券評価損益 (△は益)	17,900	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△46
受取利息及び受取配当金	△26,739	△33,578
支払利息	7,021	6,969
受取補償金	△284,426	△152,846
災害損失	734	—
売上債権の増減額 (△は増加)	678,076	△86,138
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△99,519	116,698
仕入債務の増減額 (△は減少)	△288,141	△11,706
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△22,225	△577
その他	23,197	△12,725
小計	1,497,306	1,387,703
利息及び配当金の受取額	26,739	32,753
利息の支払額	△7,021	△6,969
法人税等の支払額	△433,864	△409,966
補償金の受取額	284,426	152,846
災害損失の支払額	△734	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,366,852	1,156,367
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	1,300,000	300,000
定期預金の預入による支出	△1,300,000	△800,000
有形固定資産の取得による支出	△506,851	△218,646
有形固定資産の売却による収入	1,014	456
無形固定資産の取得による支出	—	△3,780
投資有価証券の取得による支出	△10,656	△316
投資有価証券の売却による収入	—	224
生命保険積立金の積立による支出	△18,736	△18,084
保険積立金の積立による支出	△178,949	—
その他	△43,695	△15,141
投資活動によるキャッシュ・フロー	△757,874	△755,287

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	824,400	760,000
短期借入金の返済による支出	△660,000	△662,000
差入保証金の回収による収入	39,674	—
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△57,154	△16,229
自己株式の取得による支出	△781	△249
自己株式の売却による収入	20,562	19,404
配当金の支払額	△157,394	△158,243
財務活動によるキャッシュ・フロー	9,304	△57,318
現金及び現金同等物に係る換算差額	6,097	42,684
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	624,379	386,446
現金及び現金同等物の期首残高	8,213,481	8,927,642
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,837,860	9,314,088

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位千円:千円未満切り捨て)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	薬品事業	建材事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	7,547,913	1,419,143	8,967,057	—	8,967,057
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	7,547,913	1,419,143	8,967,057	—	8,967,057
セグメント利益	630,651	411,361	1,042,013	△229,965	812,047

(注) 1.セグメント利益の調整額△229,965千円は、報告セグメントに帰属しない提出会社本社での総務部等管理部門に係る費用であります。

2.セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位千円:千円未満切り捨て)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	薬品事業	建材事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	7,768,040	1,694,064	9,462,104	—	9,462,104
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	7,768,040	1,694,064	9,462,104	—	9,462,104
セグメント利益	664,640	539,845	1,204,485	△215,442	989,043

(注) 1.セグメント利益の調整額△215,442千円は、報告セグメントに帰属しない提出会社本社での総務部等管理部門に係る費用であります。

2.セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。